

親子ワーケーション

6月27日から7月1日

体験入学初日の 歓迎会の様子



首都圏等に住む子どもたちが、市内の学校に1・2・3学期それぞれの各1週間体験入学し、その間、親は滞在先でテレワークを行う取組です。学校の体験入学を通して、「また会おうね」という継続した関係性ができ、国内でも珍しい取組として注目されています。

子どもたちは根知小学校に、親は滞在先のホワイトクリフでテレワークを行いました。首都圏から参加した3組4人の子どもたちは、糸魚川での自然体験や地元の子どもたちと交流し、初めての糸魚川を満喫しました。

フォッサマグナは どうやってできたのかな？



参加児童は、根知小学校の行事「防災キャンプ」に参加しました。フォッサマグナパークの見学や小麦粉を使ったフォッサマグナのでき方の実験を行い、フォッサマグナと火山活動、日本列島の成り立ちについて楽しく学び、理解を深めました。保護者も子どもたちの様子を授業参観し、活動を見守りました。

自然の不思議さに びっくり！



週末、親子でジオパーク学習に参加しました。ジオパーク学習では、能生地域柵口の万年雪を見学し、7月にも関わらずたくさんの雪にふれ、自然の生きた教材を肌で感じることができました。

また、親不知海岸に行き、ヒスイ拾いを楽しみ、1週間の糸魚川暮らしを満喫しました。

市では、新たなライフスタイルの実現に向け、ワーケーションを推進していきます！